

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	27820 観光資源創出プロモーション事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	商工観光課	担当班	観光班
① (観光大使を除く)		①		一般	一般	7	1	3				
施策体系	基本施策	3	観光の振興	根拠法令								
	施策の展開	7	観光情報発信の推進	戦略事業	34	観光資源創出プロモーション事業						
	施策の展開			戦略事業								
										事業種別	☒ 主な事業（重点施策）画1 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 26 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市の豊富な観光資源の魅力を全国へ向けてPRするとともに、新たな観光資源の創出と旅行者および地元の農水・商・工業者等、関係団体との連携による着地型（体験型）観光の提案・実施により、多くの観光客の誘致を実現し、観光産業の振興と地域経済の活性化を図る。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
既存の事業では、対応できなかった市の観光資源を活かした事業の開発やPRを行う必要があると判断したため平成26年に事業を開始した。	市が企画しても、実際に事業を行う業者が消極的であったり、観光客を受け入れる体制が不十分であったりと、事業化し、民間主導にするまでには、まだ投資や準備が必要と思われる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
東総有料道路往復通行券を利用した観光キャンペーンは、市内観光業に従事している方々と連携し、市と業者、双方の積極的なPRになると評判が良い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
1. 消耗品	1,606	通行券購入費含む	千円	1,997	1,008	1,786	1,606	646
2. 印刷製本	201	観光パンフレット増刷 キャンペーンポスター	千円	493	79	1,429	201	2,201
3. 広告料	2,645	旭市スポッポットCM放映料 雑誌への広告掲載料	千円	1,091	0	2,783	2,645	2,089
4. 旅費	87	普通旅費	千円	101	12	62	87	79
5. その他	10,571	観光プロモーション支援業務委託料・負担金等	千円	2,291	28	524	10,571	5,851
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
1. 国庫支出金	0		千円	5,973	1,127	6,584	15,110	10,866
2. 都道府県支出金	0	有料道路利用観光振興事業費補助金	千円	1,008	1,008	1,008		
3. 地方債	0		千円					
4. その他	15,110	災害復興基金充当・地域振興基金充当	千円	4,965	119	5,576	15,110	10,866
		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
		千円	千円	0	0	0	0	0

前年度増減理由	観光プロモーション支援業務委託料を増額したため
---------	-------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 6 人 × 48 日 = 延べ 288 人

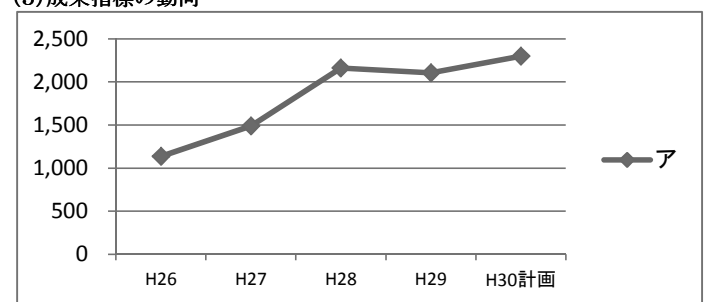
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動)							
手段	東総有料道路往復通行券を利用した観光キャンペーン・市外、県外にて行う観光PR・県主催観光商談会への参加	ア 往復通行券配布枚数 (2枚1組)	組	3,000	3,000	3,000	5,000	0
		イ 参加した観光PRイベント数	件	12	7	13	16	12
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	対象意図							
目的	旭市を訪れる観光客	ア 観光入込数	千名	1,138	1,490	2,160	2,104	2,300
	PRやキャンペーンの効果で増加する	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②		(2)	
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	天候不良によるイベントの入れ込み数の減によるもの。				
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	
	7月～	昨年に引き続き、映画を活かした観光資源の創出と観光素材のブラッシュアップを図る。		通年	観光素材の発掘及び創出、ツアーバスの積極的な誘致、県内県外を問わず市の観光地及び特産品のPR	